

慣らし運転について

適切な慣らし運転を行うと、その後のお車の性能を良い状態に保つことができます。

この車は乗り初めてから100kmを走行するまでは急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。

エンジンのかけかた

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。

エンジン始動は、21～24ページの「始動手順」に従って行ってください。

- エンジンをかける前に、オイル、ガソリン、冷却水などの点検をしましたか。必ず点検を行ってください。(日常点検は、45ページ参照)
- エンジンをかけるときは、必ずメインタンドを立ててください。
- また、メインタンドロックのロックレバーが“UNLOCK”の位置になっている事を確認してください。
- 急な飛び出しを防ぐために始動時は、必ずブレーキロックレバーをかけ、後輪をロックしてください。
- 後輪ブレーキの調整が正しく行われていないとロックできません。(後輪ブレーキの調整は、47ページ参照)

⚠️ アドバイス

- スタートスイッチを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを“OFF”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- 無用の空ぶかしや長時間の暖機運転はしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジン等に悪影響を与えます。
- 万一転倒した場合は、一旦メインタンドを“OFF”にしてください。再度、走行を行う際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。

📌 知識

エンジンをかけるときには、スロットルを全開にしないでください。スロットルを全開にしてエンジンを始動しようとすると、PGM-FIユニットが燃料の供給を停止します。